



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 日本化薬株式会社

上場取引所

東

コード番号 4272 URL <https://www.nipponkayaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 政信

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ経理本部経理部長 (氏名) 武内 直彦 (TEL) 03-6731-5842

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	82,326	7.1	11,943	29.3	12,108	58.8	8,580	65.8
29年3月期第2四半期	76,877	△4.2	9,237	△17.3	7,626	△24.8	5,175	△21.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 14,202百万円( -%) 29年3月期第2四半期 △94百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	49.55	49.55
29年3月期第2四半期	29.85	29.83

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	281,834	216,923	72.6
29年3月期	272,791	205,866	71.1

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 204,698百万円 29年3月期 194,062百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	12.50	—	17.50	30.00
30年3月期	—	15.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	168,500	5.9	22,000	12.0	22,500	12.8	15,500	△0.9	89.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期2Q	182,503,570株	29年3月期	182,503,570株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	9,356,767株	29年3月期	9,346,782株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期2Q	173,152,980株	29年3月期2Q	173,416,781株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の実績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）の世界経済は、総じて緩やかな回復基調が続きました。米国では雇用環境の改善や個人消費の増加が続き、欧州では政治情勢を巡る先行き不透明感があるものの、輸出の増加等を下支えに景気の持ち直しの動きが見られました。中国では設備投資が堅調に推移する等底堅い成長が続きました。日本経済は、企業収益が改善するとともに、雇用・所得環境の改善も持続し、緩やかな回復基調にありました。

このような状況の中、当社グループは平成28年度よりスタートさせました中期事業計画“*Take a New Step 2016*”の重点テーマと中長期重点課題に取り組み、研究開発の強化、重点事業への経営資源の最適配分、海外事業の拡大に加え、収益体質の強化を目指し、一層のコストダウンを推進しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、機能化学品事業、医薬事業及びセイフティシステムズ事業が前年同四半期を上回ったことにより、823億2千6百万円と前年同四半期に比べ54億4千9百万円（7.1%）増加しました。

営業利益は、売上高の増加等により119億4千3百万円と前年同四半期に比べ27億6百万円（29.3%）増加しました。

経常利益は、為替差損の減少等により121億8百万円となり、前年同四半期に比べ44億8千2百万円（58.8%）増加しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、85億8千万円と前年同四半期に比べ34億4百万円（65.8%）増加しました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

**【機能化学品事業】**

売上高は、334億1千2百万円と前年同四半期に比べ21億4千3百万円（6.9%）増加しました。

機能性材料事業は、海外向けエポキシ樹脂が堅調に推移し前年同四半期を上回りました。

色素材料事業は、繊維用染料及び紙用染料が前年同四半期を下回ったものの、インクジェットプリンタ用色素及び感熱顔色剤が前年同四半期を上回り、色素材料事業全体では前年同四半期を上回りました。

触媒事業は、アクリル酸製造用触媒が好調で前年同四半期を上回りました。

ポラテクノグループは、産業用や車載用LCDパネル向け偏光フィルム及びX線分析装置部材が堅調に推移し前年同四半期を上回りました。

セグメント利益は、44億1千7百万円と前年同四半期に比べ19億円（75.5%）増加しました。

**【医薬事業】**

売上高は、240億9千万円と前年同四半期に比べ2億3百万円（0.9%）増加しました。

国内向け製剤は、バイオシミラーの「インフリキシマブBS点滴静注用」（抗体薬）、「フィルグラスチムBS注」（がん化学療法支持療法薬）が伸長しました。国内向け製剤全体では、ジェネリック医薬品への切り替えによる影響で、長期収載品が前年同四半期を下回ったものの、「オキサリプラチン点滴静注液」（抗がん薬）等の新製品が寄与し、前年同四半期を上回りました。

輸出は、エトポシド類（抗がん薬）が前年同四半期を上回ったものの、プレオ類（抗がん薬）、高薬理活性原薬が前年同四半期を下回り、輸出全体では前年同四半期を下回りました。

国内向け原薬及び診断薬は、前年同四半期を下回りました。

セグメント利益は、34億5千9百万円と前年同四半期に比べ6億6千2百万円（23.7%）増加しました。

**【セイフティシステムズ事業】**

売上高は、210億4千6百万円と前年同四半期に比べ29億5千3百万円（16.3%）増加しました。

国内事業は、エアバッグ用インフレーターは前年並みであったものの、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレーターは前年同四半期を上回りました。

海外事業は、北米・欧州・中国市場が堅調だったことに加え、新興国における自動車安全部品への需要拡大等により、エアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレーター及びスクイブは前年同四半期を上回りました。

セグメント利益は、35億6千2百万円と前年同四半期に比べ2億1千9百万円（6.6%）増加しました。

**【その他】**

売上高は、37億7千7百万円と前年同四半期に比べ1億4千9百万円（4.1%）増加しました。

アグロ事業は、輸出が前年同四半期を下回ったものの、国内が前年同四半期を上回り、アグロ事業全体では前年同四半期を上回りました。

不動産事業他は、前年同四半期を下回りました。

セグメント利益は、7億6百万円と前年同四半期に比べ1千8百万円（2.5%）減少しました。

**(2) 財政状態に関する説明**

**①資産、負債及び純資産の状況**

総資産は2,818億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ90億4千3百万円増加しました。主な増加は受取手形及び売掛金46億8千8百万円、投資有価証券27億4千万円、有形固定資産26億6千2百万円、たな卸資産20億3千2百万円、有価証券10億7百万円であり、主な減少は現金及び預金35億9千万円、未収入金16億2千2百万円（流動資産その他を含む）であります。

負債は649億1千万円となり、前連結会計年度末に比べ20億1千4百万円減少しました。主な減少は未払金26億2千7百万円、長期借入金24億6百万円であり、主な増加は支払手形及び買掛金22億2千9百万円、未払法人税等4億3千3百万円であります。

純資産は2,169億2千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ110億5千7百万円増加しました。主な増加は親会社株主に帰属する四半期純利益85億8千万円、為替換算調整勘定35億1千8百万円、その他有価証券評価差額金13億3百万円であり、主な減少は配当金の支払30億3千万円であります。

**②キャッシュ・フローの状況**

営業活動によるキャッシュ・フローは、91億2千7百万円の収入（前年同四半期は152億5千5百万円の収入）となりました。これは主に売上債権の増加額が42億8千3百万円、法人税等の支払額が31億3千6百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が119億5千万円、減価償却費が55億9千6百万円あったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、68億3千9百万円の支出（前年同四半期は88億4百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が63億7百万円あったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、61億7千2百万円の支出（前年同四半期は96億4千6百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払額が30億2千2百万円、長期借入金の返済による支出が26億2千3百万円あったことによるものです。

以上の結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ26億2百万円減少し、491億8千2百万円（前年同四半期は421億8千万円）となりました。

**(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、世界経済は米国や欧州では引き続き堅調に推移することが期待されるものの、政治情勢を巡る先行き不透明感の高まり等により景気の下振れが懸念されます。日本経済は雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかに回復することが期待されるものの、世界経済の下振れの影響に留意する必要があります。

このような状況において、当社グループは事業環境の変化に対応できる強固な財務体質を構築するとともに、グローバルな成長市場で既存ビジネスの拡大と新事業・新製品の展開を加速させ、収益の拡大を図ってまいります。

なお、平成29年5月10日に公表いたしました平成30年3月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	44,596	41,005
受取手形及び売掛金	46,551	51,240
電子記録債権	1,096	1,528
有価証券	7,634	8,641
商品及び製品	25,038	26,096
仕掛品	2,030	2,432
原材料及び貯蔵品	18,021	18,594
その他	8,653	7,657
貸倒引当金	△20	△19
流動資産合計	153,602	157,177
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	38,897	39,144
機械装置及び運搬具（純額）	24,271	24,305
その他（純額）	17,060	19,442
有形固定資産合計	80,230	82,892
無形固定資産		
のれん	553	509
その他	1,822	1,824
無形固定資産合計	2,375	2,334
投資その他の資産		
投資有価証券	32,202	34,942
退職給付に係る資産	1,654	1,748
その他	2,666	2,692
貸倒引当金	△28	△27
投資その他の資産合計	36,494	39,355
固定資産合計	119,100	124,582
繰延資産	87	74
資産合計	272,791	281,834

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,782	16,012
短期借入金	6,306	6,133
未払金	11,657	9,029
未払法人税等	2,410	2,844
その他	7,164	7,945
流動負債合計	41,321	41,964
固定負債		
長期借入金	8,201	5,795
環境対策引当金	1,540	1,179
退職給付に係る負債	487	502
その他	15,373	15,468
固定負債合計	25,603	22,946
負債合計	66,924	64,910
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,932	14,932
資本剰余金	17,587	17,596
利益剰余金	162,615	168,165
自己株式	△10,471	△10,487
株主資本合計	184,664	190,206
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,652	12,955
為替換算調整勘定	△566	2,952
退職給付に係る調整累計額	△1,688	△1,417
その他の包括利益累計額合計	9,397	14,491
非支配株主持分	11,803	12,225
純資産合計	205,866	216,923
負債純資産合計	272,791	281,834

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	76,877	82,326
売上原価	46,089	49,288
売上総利益	30,787	33,038
販売費及び一般管理費	21,550	21,094
営業利益	9,237	11,943
営業外収益		
受取利息	45	41
受取配当金	356	390
持分法による投資利益	268	229
その他	429	419
営業外収益合計	1,099	1,081
営業外費用		
支払利息	69	82
為替差損	2,385	192
環境対策引当金繰入額	—	415
その他	256	226
営業外費用合計	2,711	916
経常利益	7,626	12,108
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産処分損	332	159
特別損失合計	332	159
税金等調整前四半期純利益	7,294	11,950
法人税、住民税及び事業税	2,037	3,570
法人税等調整額	△238	△618
法人税等合計	1,798	2,952
四半期純利益	5,495	8,998
非支配株主に帰属する四半期純利益	319	418
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,175	8,580

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	5,495	8,998
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△397	1,300
為替換算調整勘定	△5,407	3,626
退職給付に係る調整額	215	274
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	1
その他の包括利益合計	△5,589	5,203
四半期包括利益	△94	14,202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65	13,673
非支配株主に係る四半期包括利益	△159	528

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,294	11,950
減価償却費	5,435	5,596
環境対策引当金の増減額(△は減少)	—	△361
その他の引当金の増減額(△は減少)	△185	△117
受取利息及び受取配当金	△401	△432
支払利息	69	82
為替差損益(△は益)	2,003	△470
持分法による投資損益(△は益)	△268	△229
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△1
有形固定資産処分損益(△は益)	332	159
売上債権の増減額(△は増加)	3,242	△4,283
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,663	△1,505
前払費用の増減額(△は増加)	△259	△91
未収入金の増減額(△は増加)	967	977
前渡金の増減額(△は増加)	△155	161
仕入債務の増減額(△は減少)	1,705	1,961
未払金の増減額(△は減少)	△420	△2,724
未払費用の増減額(△は減少)	△233	729
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△18	14
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	371	303
その他	261	11
小計	18,074	11,732
利息及び配当金の受取額	556	598
利息の支払額	△68	△80
法人税等の支払額	△3,473	△3,136
法人税等の還付額	166	13
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,255	9,127
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△257	△270
定期預金の払戻による収入	107	265
有形固定資産の取得による支出	△6,730	△6,307
有形固定資産の売却による収入	—	6
無形固定資産の取得による支出	△618	△119
長期前払費用の取得による支出	△80	△82
固定資産撤去に伴う支出	△196	△233
その他	△1,028	△97
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,804	△6,839

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	151	△8
長期借入金の返済による支出	△3,544	△2,623
建設協力金の返済による支出	△374	△374
自己株式の取得による支出	△2,684	△16
配当金の支払額	△3,064	△3,022
非支配株主への配当金の支払額	△104	△104
その他	△25	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,646	△6,172
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,088	1,282
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,284	△2,602
現金及び現金同等物の期首残高	47,464	51,785
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,180	49,182

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	機能化学 品事業	医薬事業	セイフティ システムズ 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	31,269	23,887	18,092	73,249	3,627	76,877	—	76,877
セグメント間の内部売上 高又は振替高	85	0	0	85	56	141	△141	—
計	31,354	23,887	18,092	73,334	3,683	77,018	△141	76,877
セグメント利益	2,517	2,796	3,342	8,656	724	9,380	△142	9,237

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△142百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△158百万円、セグメント間取引消去15百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	機能化学 品事業	医薬事業	セイフティ システムズ 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	33,412	24,090	21,046	78,549	3,777	82,326	—	82,326
セグメント間の内部売上 高又は振替高	92	0	0	92	54	147	△147	—
計	33,504	24,090	21,046	78,641	3,832	82,473	△147	82,326
セグメント利益	4,417	3,459	3,562	11,438	706	12,144	△201	11,943

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△201百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△242百万円、セグメント間取引消去41百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。